



第278号 2026年 9月号

日本基督教団 梅ヶ丘教会会報

# ぶどうの木

発行人 牧師 広田叔弘  
企画編集 広報委員会  
www.church.ne.jp/umegaoka/  
2026年8月23日発行

〒155-0033  
東京都世田谷区代田 3-37-7  
TEL : 03-3414-5772  
FAX : 03-3414-5778



## 『希望』

牧師 広田叔弘

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことがありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。ローマの信徒への手紙 5章3～5節

1943年9月4日、梅ヶ丘教会は誕生しました。教会はこの日を覚えて9月の第1主日に創立記念礼拝をささげています。

元号で言えば昭和18年。神宮外苑で行われた出陣学徒壮行会は、この年の10月21日のことでした。既に宗教団体法は施行（1940年4月1日）され、キリスト教会は国の監督下に置かれています。敵性宗教として見られていた時代でした。教会創立の記録をたどると次のように書いてあります。

現住所に牧師館を建て二部屋を集会所として使用、日本基督教団梅ヶ丘教会は伝道を開始す。

教会堂を建てることは役所からの許可が下りなかったのでしょうか。まず牧師館を建て、そこで礼拝をささげて伝道が始まった。

当教会を創立した植松英雄牧師はなぜここまでしたのかと思います。身の危険さえあつ

たと思います。おそらく、そうせずにはいられなかった・・・世の中全体が抗し難い力で絶望へ向かって行こうとしています。この中で、キリストと言う希望の灯りを点さずにはいられなかったのではないのでしょうか。生きることは信じること。信じることは、福音を宣べ伝えることであつたと思うのです。

今年83回目の創立記念日を迎えます。社会全体が、日ごとに変わる現実に対応する中で精一杯。誰もが疲れています。常識となった個人主義は人を無口にさせ、自己防衛的な生き方に変えていきます。若者たちは毎日、SNSの中に人生の正解を探しています。このような時代の中で宗教を問えば、人気のあるものはパワースポットとスピリチュアリズムでしょう。私には人生をかけられる実のあるものとは思えません。そして私たちは、この現実の中で伝道しているのです。

教勢拡大を考える時代ではありません。真実を指し示す時代です。主キリストによって現れた、神の愛と赦しをはっきり指し示すのです。これが続けるとき私たちは、希望を持つことが出来ます。福音を伝えるところに世を救う主キリストがおられるからです。

先人たちの祈りと労苦を尊くして、私たちも伝道を続けましょう。行く先で見えるものは、不可能を可能に変える神さまの御業です。